

# 監査報告書

令和2年5月28日

社会福祉法人 熊本県コロニー協会  
理事長 茂 隆 治 様

監事 山下 康 明 

監事 隈部 幸 一 

社会福祉法第41条及び関係法令に基づき実施した、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの第57期事業年度における会計及び業務を監査した結果を、下記のとおり報告いたします。

## 1. 監査方法の概要

- (1) 業務執行監査のため理事会その他の会議に出席し、理事及び関係者（使用人他）から報告を求め、理事の職務執行上重要な書類を閲覧する等、相当な方法を用いて調査した。
- (2) 会計に関する職務執行の監査のため、会計帳簿及び書類を閲覧し、計算書類について慎重に検討し必要な実地調査・立ち会い・照会・理事及び関係者からの報告の聴取、その他相当な方法を用いて調査した。

## 2. 業務執行の状況監査

### I. 法人

- (1) 事業報告書は業務全般にわたり詳細且つ適正な報告があり、その内容は真実であると認めました。
- (2) 理事の職務執行に関しては適正であり、定款に違反する事実はないものと考えられます。監事も立ち会いの上、理事会も適宜開催されており、熱心な討議が行なわれたものと認めます。
- (3) 過年度指摘した現金の保管については、6つのサービス区分毎に金庫にて行っていることを再確認しました。又、その現金残高についても確認を行った結果、帳簿と一致していました。

### II. 熊本福祉工場

- (1) 本期の売上高は、前期に比べ約1,280万円減少した。一方材料費の増加がありコストが1.4%アップ、経常収支が約550万円の赤字になりました。
- (2) 売掛金は回収について努力の跡が窺えます。今後、回収については問題が発生する恐れがありますので、引続き社員教育と回収・管理を怠らないように努力されることを勧めます。
- (3) 労災事故については、2件発生しています。安全教育をお願いします。
- (4) 作業ミスについては、前年が755千円、21件、今年は355千円、13件と減少しています。ミスの無い月が4ヶ月になっています。従業員を褒めて頂きたいと思います。コストダウンのためにも、ミスがゼロになる意識を高められることを勧めます。
- (5) 経営環境を考慮すると、印刷業界は、売上減少の方向であり、全社的に新規事業への取組みをされることが必要です。

## III. 熊本コロニー作業所

- (1) 施設利用者数が定員35名に対し、令和元年度末は28名、また就職者数は2名となっております。引続き、就職者増に向けてのさらなる努力を勧めます。

## IV. 旦過園

- (1) 施設利用者数は、令和元年度末で25名（定員25名）となっています。
- (2) 現在、製本・仕上作業及び建物の清掃作業が中心になっています。外部からの受託作業は野菜の袋詰めが増加しています。今後とも引続き、利用者のニーズに合った作業種目の開拓をおこなうことを勧めます。

## V. グループホーム

- (1) 地震改修工事が完了し、3ヶ所の事業所（定員28名）運営は順調に進んでいます。入居者数は、27名となっております。

## VI. 放課後等デイサービス

- (1) 定員10名に対し、令和元年度の平均利用者数は6.2人/日です。前年(3.1人)に比べると努力の跡が窺えます。利用契約者の確保および利用率の向上と療育活動の内容向上にさらなる努力をされることを勧めます。

## 3. 会計に関する監査

- (1) 令和元年度事業報告並びに第57期決算報告書について理事長及び事務担当者から報告を求め、関係書類も閲覧し、その他必要と思われる方法により調査を実施した結果、会計基準に従って処理されていて、その措置は適当であると考えられます。
- (2) 貸借対照表、事業活動収支計算書および財産目録は、当法人の財産及び収支(損益)の状況を適正に示しており、社会福祉法人の決算に適合しているものと認められます。
- (3) 主に紙の仕入代金の決済方法として、支払手形の発行があります。時代の流れと経理の合理化のため、預金による決済を勧めます。

以上